

鴻巣びっくりひな祭り2023を盛大に開催

2月17日～3月4日、メイン会場のエルミこうのすショッピングモールや市内5か所のサテライト会場で、鴻巣びっくりひな祭りが開催されました。

びっくりひな祭りは、歴史ある鴻巣雛のまちとして本市を広くPRすること、すべての市民でひな祭りを楽しむこと、市外から多くの観光客を迎え、まちを明るく元気にすることを目的として平成17年から始まり、今回で19回目を迎えました。

メイン会場の日本一高いピラミッドひな壇をはじめ、各会場で無病息災の思いを込めて展示されたひな人形が、市内各所を明るく彩りました。

31段高さ約7mの日本一高いピラミッドひな壇▶
(エルミこうのすショッピングモール)



▲六角錐ひな壇(花久の里)



▲ひな人形花飾り(鴻巣農産物直売所バンジーハウス)

「フラワーバレンタイン」大切な人へ 花に気持ちを込めて



2月11日、エルミこうのすショッピングモールで、本市の地場産業である花をPRする「フラワーバレンタイン」を3年ぶりに開催しました。

花贈りでは、夫婦や友人などの5組が参加し、日頃の感謝を込めて花束を手渡しました。また、花苗プレゼントや寄せ植え体験も実施し、花のまちならではのイベントで、ひと足早い春を楽しみました。



◀花苗をもらって
ニッコリ

講師のレクチャー
を受けて完成した
寄せ植え作品 ▶



のすっ子からウクライナへ 届け！あたたかい思い

コミュニティ FM「フラワーラジオ」では、厳冬のウクライナの人たちへの支援として、市内の小中学生に使い捨てカイロの寄附を呼びかけました。この呼びかけに対して、約9,000個の使い捨てカイロが集まり、ウクライナの支援活動団体を通じて現地へ送られました。

2月21日には、この活動に携わったウクライナからの留学生ミコラ・パトゥリンさんとその友人で避難してきたアダムチュック・イリナさん、フラワーラジオ関係者、中央小学校の児童が市長を表敬訪問し、子どもたちが自ら調べて書いたウクライナ語のメッセージや、ウクライナ国旗の色で作られた飾り物が披露されました。



◀児童のメッセージ付きカイロ

トルコ・シリア地震の被災地への救援金を募集



◀2月17日に鴻巣駅自由通路で行った「トルコ・シリア地震救援金街頭活動」では、92,657円が集まりました。

現在、2月6日にトルコ南部で発生したマグニチュード7.8の地震で被害を受けた方のための救援金を募っています。

救援箱は市役所新館と両支所に設置していますので、多くの方のご協力をお願いします。

集まった救援金は、日本赤十字社埼玉支部を通じて救援活動の支援に役立てさせていただきます。

川里ひまわり保育園で遊具お披露目式

2月1日、ひなちゃん子育て応援基金を活用し、川里ひまわり保育園の遊具の入れ替えを行いました。

この大型複合遊具は、動物園をモチーフにしたかわいらしいデザインで、滑り台やうんていなどを備えています。お披露目式後、先生から「遊具で遊んでいいよ」と声がかかると、子どもたちはいっせいに駆け出し、新しい遊具で夢中になって遊んでいました。

次代を担うこどもたちが、のびのびと健やかに成長してくれることを願っています。

